

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月27日

【評価実施概要】

事業所番号	272300781		
法人名	株式会社ユートピアあいのり		
事業所名	グループホームあいのり		
所在地 (電話番号)	〒038-0101 青森県平川市碓ヶ関西碓ヶ関山185 (電話) 0172-49-5678		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年1月23日	評価確定日	平成21年2月27日

【情報提供票より】(平成21年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 7月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	11人, 非常勤 3人, 常勤換算 7.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	9,000 ~ 冬期13,500 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
または1日当たり 1,100 円			

(4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	4 名		
要介護5	4 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	73 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	黎明卿リハビリテーション病院、弘前愛成会病院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

青森県と秋田県の県境に位置し、現在双方から入居されている。それぞれの風土が日常生活の中でよい刺激となり、入居者は生き生きとした生活を送られている。山間に位置しているため、近所との距離はあるものの、積極的に地域住民との交流を図っており入居者にとって自宅と変わらない付き合いが継続できるよう支援している。また認知症の普及活動が積極的に行なわれているなど、代表者兼管理者は地域密着型サービスとしての役割を果たしている。代表者は看護師であるため、入居者の健康管理や職員への指導も徹底され、入居者の安心感につながっている。重度化が進む中、他入居者と同じ時間が過ごせるよう短時間でよりリビングへ離床するなど、職員はより良いサービスの提供に努めている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	該当なし
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義は認識しているようだが、管理者や計画作成者が評価表を作成し職員は一部しか参加していないため、再度自己評価の意義を理解し、更なるサービスの向上につながるよう全職員での取り組みに期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	市介護保険担当者、支部介護保険担当者、消防団長、民生委員、御家族、入居者など参加者も多い。会議では施設内でのサービスについて取り上げ、積極的に意見が寄せられ、それをサービスへ反映し、また協力して頂く等良好な関係が形成されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	入居時には外部に表せる機関の説明も行なわれ、運営推進会議の場で意見を聞くように努めたり、また面会時やケアプランの説明時などを通して意見や苦情はないか聞く姿勢に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域の中学校の行事に参加したり、また施設へ招くなど世代間の交流も図られ入居者にとって地域とのつながりが継続されている。管理者は自ら講師となり、老人クラブなど依頼があれば認知症について講義を行なうなど啓発に努めている。また積極的に体験学習の受け入れも行なっている。地区の消防団員が定期的に施設を見回りにきており、入居者の安全に対し協力的であり地域住民との関係が良好である。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	設立時、同じ敷地に温泉施設があり、地域から高齢者に対し温泉を利用した何かをできないかと要望のもとに設立されている。管理者は、地域の高齢者の事を考え、住み良い住環境、それを支える人員を整えることで幸せで健康に暮らせる福祉村を作りたいという思いがある。地域密着型サービスとしての役割はなされているが、理念には含まれていない。		地域密着型サービスとしての役割がなされているが、今後理念に盛り込み明確化することで、入居者や御家族、外部の方々にも取り組みを理解して頂くきっかけにつながり、更に地域との交流が発展することを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、朝礼で理念を唱和され職員の資質向上と日々の援助の中で意識されるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	同じ敷地に温泉施設があり、老人クラブ、婦人クラブなどが利用の際、管理者が自ら講師となり認知症や健康について講義し普及に努めている。職員もキャラバンメイトとなっており、今後認知症の普及に努めていく予定である。町内の中学生の体験学習の受け入れ、学校の運動会の見学、施設内の餅つきではボランティアなどの訪問があり、地域との交流が盛んである。近所の人々が温泉施設に入った後、施設に立ち寄り、入居前と変わらない交流が継続できている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価、外部評価の認識はされているが全職員で取り組みがなされていない。</p>		<p>今後職員一人ひとりが自己評価に取り組み、それぞれに意見を持ち寄って話し合い、サービスの質の向上に努めていくことを期待したい。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>市介護保険担当者、支部担当者、消防団長、民生委員、御家族や入居者などが参加され、会議の内容は施設のサービスについて検討し、食事のことなど(例えばソフト食の試食など)について意見を頂くなど、サービスの向上に反映されている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外でも問題や疑問な点は随時連絡をとっており、サービスの運営に関し市の担当者も親身に相談にのるなど協力的な姿勢であり、良好な関係が築かれている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在入居者で成年後見人制度を利用されている方がおり、学ぶ機会となっている。また研修会にも参加しているが、全職員にまで周知されていない状況にある。</p>		<p>今後定期的に勉強会を開催し、職員の資質向上に努めることを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会などに参加しているが、全職員まで周知されていない状況にある。</p>		<p>高齢者虐待防止関連法について定期的に勉強会を開催し、日常生活を支援する上で、より良いサービスの提供につながるよう期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居を希望されている方の自宅を事前に訪問し状況を確認し、契約の際にはできることできないことの確認や重要事項についても丁寧に説明し十分に納得した上で契約を行なっている。医療連携加算などの改定で料金に変更がある際は、御家族に来て頂き、丁寧に説明を行ない了解を得てから進めている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会を通して、病院受診の結果や日常生活の様子を伝えられている。また身体状況変化時は、随時報告するよう努めている。また遠方に居る御家族には、毎月の請求書を送付する際に金銭管理の明細書や普段の暮らしの様子を伝えている。職員が新しく入った時は、職員が定着した頃に報告を行なっている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約時に意見や苦情について外部に伝えることができることを説明されており、また面会時やケアプランの説明の時などに意見等を聞くよう努めている。意見等があれば運営に反映されている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>各ユニット間で職員や入居者が行き来しており馴染みの関係ができているため、異動等があっても利用者の不安が少ないよう配慮されている。また新しい職員には、早く馴染めるように一緒にケアするなど入居者が混乱のないように努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者や各職員の外部研修には積極的に参加を促しておりいつでも研修に参加できる体制を整えている。研修参加後には伝達報告がなされ、全職員で共有され資質向上に努めている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修に参加することで同業者との交流を持ち、情報交換を図っている。また、お互いに行き来しているほか、グループホームの温泉を開放し入居者同士も交流を図るなどして、お互いのサービス向上につながっている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービスを提供する際、本人の意向を十分に聞き入れ、また御家族や知人からの情報をもとに早期に馴染んで頂けるように努めている。入居後は、御家族の面会時一緒に食事をして頂いたり、誕生会などの行事には可能な限り御家族に参加もらい馴染めるように取り組まれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護される一方にならないよう利用者主体に活動できる場面を持ち、調理(郷土料理)、裁縫などその人の特技や生活歴を踏まえた支援をされている。職員も学ぶ機会となっており、お互いが支え合う関係が形成されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その人らしく暮らせるよう一人ひとりの思いや意向を把握している。一言しか表現できず把握が困難な場合は、表情から汲み取るようにし、常に本人の視点に立ち把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や御家族と話し合い、意向を十分に取り入れ介護計画に反映されている。計画作成者が作成後、職員に確認してもらい意見を反映した計画を作成しており、その人らしい生活ができるような計画となっている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画書は定期的(おおむね3ヶ月～6ヶ月)に見直しが行なわれている。また問題や状況が変化した時は、随時医師の指導や職員、御家族などの意見を反映した計画書に作り直し、本人が安心して生活が送れるように支援している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	短期入所、医療連携加算の体制を整えており、また隣の温泉施設を利用しクリスマス会などの行事が行なわれている。またグループホームの温泉を、一般の浴場では支障のある方に開放するなど地域住民に対し柔軟な支援をされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や御家族の了解のもとに、通院先を協力病院への受診とさせて頂いている。協力病院は夜間等を問わず、いつでも受け入れや相談に応じている。ただ強制ではないため、入居前からのかかりつけ医を希望する方や病状に合った受診先の支援は行なわれており、通院介助も行なわれている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時には看取りのことも説明されるが、まだ体制が十分ではなくその都度、御家族や病院と連携を保ちながら、全職員でできる限り施設で援助する姿勢をとられている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の言葉遣いなどは尊厳やプライバシーを損ねないよう、随時管理者は声がけし職員に意識させている。個人情報の管理については、外部から目の届かない鍵のついた書庫で管理されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の希望や個々のペースを尊重しながら、またその日の体調にも考慮し対応されている。また活動に関しても、入居者が自発的にやりたいことが決められるよう歌や習字の道具などを提供し、支援するなど、それぞれが思い思いに活動し過ごされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と職員が一緒になって食事の準備や後片付けを行なっているが、職員は一人ひとりの力量を把握し、その人に合った役割を分担することで、認知症が進んでも積極的に参加し生き生きとされている。また職員と一緒に食事されることで会話が弾み楽しく食事をされている。またさりげなく食事のサポートもされている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	温泉であり24時間入浴できる体制である。希望により毎日や、夜間便失禁で汚染した際は入浴介助し清潔が保てるよう支援されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴を把握しており、漬物づくりや花壇の整備、草むしり、趣味であるはさみ将棋などいろいろと楽しみが見出せるような支援を提供されている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	温泉施設の職員にも協力して頂き、安全に配慮しているため自由に散歩ができるようにされている。散歩中は地域の人が声をかけてくれたり、買い物希望時は職員と一緒に行き支援している。またドライブも積極的に行なっており遠出したり、遠出が無理な方には近場へドライブに行くなどみんなが戸外へ出られるよう支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加し全職員で周知徹底している。日常生活の中で身体拘束とならないよう意識しながら支援されている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	地域住民との協力、理解を得て居室も含め施錠はされていない。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	偶数月に避難訓練をされており、地域の消防団や隣接する温泉施設の職員も協力している。夜間を想定した訓練を行ったり、また施設には設置されていないがAEDについても訓練されており、外出先での対応に備えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月、協力病院の栄養士へ献立表を確認してもらいカロリーや栄養バランスの指導を受けている。また入居者の食事量や水分量の把握にも努め健康に留意されている。また協力病院ではリハビリの先生による嚥下指導や、栄養指導の勉強会が行なわれており職員は参加し食事の提供に反映されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関しマニュアルが作成され、また園内研修として看護師から直接指導を受け対応策を取られている。入居者や面会者にもうがい、手洗いを励行されており、ペーパータオルを使用し感染には十分に気をつけている。また共用部分もハイターにて消毒されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有部分は広く食卓以外にもソファなど設置され、一人ひとりがゆっくり過ごせる空間作りとなっている。装飾もさりげなく季節の入った習字が飾られていたり、二県の入居者が入っているため、郷土の祭の壁画が飾られている。室内は床暖で温度センサーがついているため、快適な室温が保てるように気をつけており、また適宜換気もされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は利用者や御家族と相談され、自宅で使用されていた馴染みの鏡台など持ってきたりされている。ベッドなどの家具の配置も入居者の希望や、移動の容易さ、安全面に配慮した居室作りとなっている。思い思いに壁に飾り付けをされており、居心地良く過ごせるような空間作りに配慮されている。</p>		

 は、重点項目。